

令和 7 (2025) 年度

東京都第 11 ブロック 中学校 夏季剣道大会

① 剣道選手権大会 (個人戦)

② 総合体育大会剣道大会 (団体戦)

東京都中学校総合体育大会剣道大会 兼 東京都中学校剣道選手権大会 予選会

令和 7 (2025) 年 7 月 6 日 (日)

東大和市立第二中学校体育館

東大和市南街3-60-4

☎042-561-2328 担当 亀澤祐浩

8 : 00 開館

8 : 30 受付開始 (体育館ステージ本部)、審判員・顧問打合せ

9 : 00 諸連絡

開会式

試合開始 (9 : 30 予定) : 男女同時進行 (決勝戦のみそろえて行う)

午前 : 男女個人戦

昼休憩有

午後 : 男女団体戦

試合終了 (16 : 30 見込)

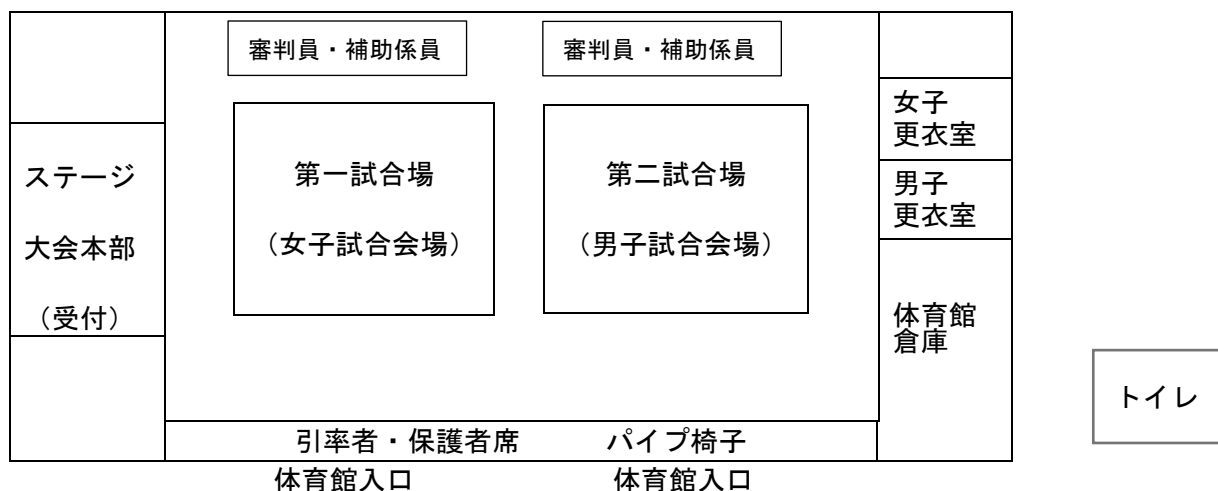
閉会式

17 : 00 片付け清掃・退館 (予定)

17 : 30 役員係員解散・閉館 (予定)

7/5 (土) 15 : 00 ~

東大和市の中学校生徒で、前日会場準備



- ・会場校到着後、体育館西側(校庭の逆側)より入館してください。
- ・更衣室等で更衣、荷物は更衣室または体育館倉庫に置く。会場が狭いのでお互いに気遣って気持ちよく使用できるようにご協力ください。靴袋は必ずお持ちいただき外履きは持参してください。靴の取り違えが多発しています。
- ・トイレは、体育館を出て後方の外トイレを使用して下さい(外履き使用)。
- ・メンバー表(団体戦は模造紙縦置きで横4分の1、個人戦はA4用紙縦置きで縦2分の1)にトーナメント表番号を加筆し(女子は赤ラインも加筆)、受付へ提出して下さい。
- ・紅白目印(襷)、名札(ゼッケン、「中」の文字入り)、マウスシールド(一体型は認める)または面マスクのどちらかを必須、アイガードは任意です。
- ・都大会申し込み提出(7/7月)、抽選会(7/8火)です。事前に見込みで都大会参加申込書等セットを作成し持参いただき、大会閉会式後の提出がスムーズです。
- ・大会当日に怪我や発熱などで選手が欠席しチームが3人に満たなくなった場合でも、チームの敗退は確定した上で、本大会申し合わせ事項により参考試合として行います。
- ・感染拡大防止に引き続きご協力ください。

主 催
主 管東京都中学校体育連盟第 11 ブロック
東京都中学校体育連盟第 11 ブロック 中学校剣道部

整列、竹刀、サポーター、名札、シールド、マスク等チェック	
試合具確認、諸注意	
開会式	司会 本多 華子
開式	
来賓挨拶	
大会実行委員挨拶	亀澤 祐浩
審判長説示	細川 梨絵
選手宣誓	北田 和子(日体大桜華中)

整列	
閉会式	司会 本多 華子
成績発表	石川 大翔
(優勝・準優勝・第三位(2校2名)・都大会出場権獲得)	
表彰	
講評	亀澤 祐浩
閉式	

1. 主催 東京都中学校体育連盟第11ブロック
 主管 東京都中学校体育連盟第11ブロック中学校剣道部
2. 組織 大会役員
- | | |
|----------------|-------------------------------|
| 会長 | 小川 高弘 (東久留米西中・東京都中学校体育連盟会長) |
| 副理事長 | 萩原 聡明 (東村山二中) |
| 11ブロック長 | 堀内 雅之 (清瀬二中) |
| 各支部長 | 萩原 聡明 (東村山二中) 佐久間 豊 (青嵐中) |
| | 立川 裕 (東大和四中) 堀内 雅之 (清瀬二中) |
| | 木下 信久 (久留米中) 大野 博史 (武蔵村山五中) |
| 剣道部部長 | 木村 孝治 (大坂上中・東京都中学校体育連盟剣道部長) |
| 副部長 | 岩澤 剛 (保谷中) |
| 常任委員 | 亀澤 祐浩 (東大和二中) 本多 華子 (明保中) |
| | 谷澤 洋一 (武蔵野大学中) |
| 第11ブロック剣道競技責任者 | 亀澤 祐浩 (東大和二中) |
| 各支部剣道競技専門委員 | 本多 華子 (明保中) 古賀 彩乃 (東村山四中) |
| | 石川 大翔 (武蔵村山一中) 亀澤 祐浩 (東大和二中) |
| 大会実行委員長 | 細川 梨絵 (日体大桜華中) |
| 審判長 | 佐藤 倫子 (明治学院中) |
| 救護 | 石川 大翔 (武蔵村山一中) |
| 会計 | 古賀 彩乃 (東村山四中) 桜井 直子 (明保中) |
| 記録 | 石川 大翔 (武蔵村山一中) |
| 賞状・賞品・獲得証 | 石川 大翔 (武蔵村山一中) |
| お昼手配 | 大島 清和 (東大和二中校長) 亀澤 祐浩 (東大和二中) |
| 本部・会場 | |
| 補助係員 | 第一試合会場 桜凛会 (5名) |
| | 第二試合会場 武蔵野大学高 (5名) |
| 係生徒 | 前日会場準備 東大和二・三・四・五中の生徒 |
- (片付けは、大会終了後、大会役員・係役員・補助係員・係生徒で行う)
- 審判主任・審判員・補助係員

	第一試合場	第二試合場
審判主任	細川 梨絵(日体大桜華中)	本多 華子(明保中)
審判員	下村 聖二(武蔵野大学中)	谷澤 洋一(武蔵野大学中)
	山崎 智裕(東村山剣連)	富田 孔明(日体大桜華中)
	小野 高由(東村山剣連)	中村 元則(世田谷)
	大橋 慧介(東大和剣連)	酒井 政輝(東村山剣連)
	亀澤 祐浩(東大和二中)	宮崎 茂樹(中体連OB)
補助係員	桜凛会(5名)	武蔵野大学高(5名)

※自校生徒選手の試合については主審を行わない

3. 方法 ①男子個人戦・女子個人戦ともにオープン参加によるトーナメント方式とする。大会上位の男子4名・女子4名を第11ブロックの代表として都大会に推薦する。都大会は1団体4名までの参加で、男女ともに都大会出場決定戦を行う必要がないため、人数無制限のフリー参加とする。
- ②男子団体戦・女子団体戦ともにオープン参加による予選リーグ・決勝トーナメント方式とする。男子団体は大会上位の4チームを、女子団体は昨年度秋季都大会準優勝の日体大桜華中と大会上位2チームの計3チームを第11ブロックの代表として都大会に推薦する。都大会出場決定戦を行う。

※男女同時進行で、個人戦 → 団体戦 の順に行う。決勝戦は同時に行う。

4. 構成 団体戦 : 監督1名、選手5名、補員2名(選手は3名4名でも可)
- 個人戦 : 監督、選手
- ※ 団体戦は同一校のチーム であること (合同チームは認められない)
- ※ 監督は顧問であること。個人戦においては他校の顧問による代理監督を認める。
- ※ 必要に応じて監督補佐

5. 規則 ①全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、同運営要領、及び、日本中学校体育連盟剣道競技部申し合わせ事項・東京都中学校体育連盟剣道部申し合わせ事項、関係機関等のガイドラインや通達、及び本大会申し合わせ事項による。顧問会議時と大会開式時に説明する。東京都中学校体育連盟剣道部では、主審の専決とされる事項（弦の指導、鐔競り合い、時間空費、危険のある行為、変形な構え、三所かくし等）について、副審からの中止要請、合議要請を認めている。
- ②・団体戦においては3分間三本勝負とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。トーナメント戦では勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は得本数が多いチームを勝ちとする。勝者数得本数も同じ場合は任意の選手による代表戦を行う（3分間一本勝負）。リーグ戦の場合は、チーム戦で、勝者数が多いチーム、勝者数が同じ場合は得本数が多いチームを勝ち（勝ち1点）とし、勝者数得本数も同じ場合は引き分け（同0.5点）、負けは（同0点）とし、リーグ内でチームの勝ち点で、勝ち点と同じ場合は総勝者数で、総勝者数も同じ場合には総得本数により順位を決定する。勝ち点、総勝者数、総得本数が全て同じ場合は、任意の選手による代表戦（3分間一本勝負）にて決する。
- ・個人戦は3分間三本勝負とする。
 - ・個人戦、団体戦代表戦で勝敗の決しない場合は、2分ごとに時間を区切り延長戦を行う。
 - ・個人戦の不戦勝は宣告を行う。団体戦の不戦勝は宣告を行わない。
- ③竹刀は長さ114cm以内、重さ男子440g・女子400g以上とする。先細竹刀や不正に細工したものは禁止する。柄革は滑り止め（ゴム等）や模様等の無い無地のもので白色とする。不正な竹刀を使用した場合は二本負けとする。事前に竹刀の手入れを行っておくこと。
- ④面紐の長さは結び目から40cm以内、目印の長さは70cm以内とする。面乳革は大きさ、色、模様も含めて華美にならないようにし、黒色または紺色とする。黒塗りにした面金などではなく通常の配色の面を使用すること。
- ⑤足袋やサポーター、コルセット、テーピング等を使用する際は開式前に審判主任に申し出て許可を得ること。足袋やサポーター類については、滑り止めを目的とした革やゴム等を使用していないものとし、華美でないものとする。ただし、指先単独でのテーピングについては、申し出は不要とする。
- ⑥選手は黒または紺地に白字、白地に黒字で校名と姓を記した『名札』を着用し、名札には必ず『～中』の文字が入っていて一枚袋であること。名札のない選手、不備の選手（校名の縫いつけ、『～中』の文字がない等）は失格とする。大会までに間に合わない場合は事前に相談すること。
- ⑦ベンチ入りできる者は、監督・選手・補員・承認を受けた監督補佐（コーチ、外部指導者等）のみとする。
- ⑧「安易に左拳を中心線から外す防御態勢（変形な構え等の防御態勢）」をとった場合は、一回目は合議の上「指導」、二回目以降は合議の上「反則」とする（公正を害する行為）。試合中の「かち上げ」「振り倒し」等の危険かつ見苦しい暴力的行為は慎むこと。
- ⑨ベンチ内への時計やフロアへの撮影機器の持ち込み等は禁止する。
- ⑩登録オーダーの変更は、補員以外とはできない。組み替えも不可とする。一度退いた選手は、それ以降の試合には出場できない。
- ⑪3人でチーム編成する場合は「中・副・大」に、4人でチーム編成する場合は「次・中・副・大」とし、後ろ詰めにすること。大会当日選手の不参加により5人に満たなくなったチームは、選手の登録順は変えずに後ろに詰めること。この場合、当日メンバー表を新たに書き換えること。大会当日途中で怪我などより棄権になった場合も同様にすること。
- ⑫3人チーム4人チームと対戦する場合は、自チームの不戦勝（二本勝ち）の者を任意に決め、残りの選手を登録順通りに後ろ詰めにして試合を行う。審判主任に確認すること。
- ⑬応援は拍手のみとする。
- ⑭その他については当日開会式にて審判長もしくは大会実行委員より説明する。
- ⑮監督は顧問（校長、教員、部活動指導員）とする。個人戦において自校の顧問が監督できない場合は、他校の顧問に依頼するか、大会実行委員長が兼ねる。この場合監督名の後に依頼した監督の所属校を明記する（本予選会においてのみ監督依頼報告書は必要としない 都大会本戦出場時には必要になります）。引率者については各学校で正式に認められた成人とする。
- ⑯保護者の車で来校は控えること。近隣のコインパーキングを利用すること。
- ⑰会場内フロアからの撮影は禁止する。二階ギャラリー観覧席からの撮影は禁止しないがSNS等への掲載は禁止する。
- ⑱感染症対策として、以下のような対応を予定する。変更や追加がある際には、各校に事前に周知し、ホームページ掲載、顧問会時と大会当日の開式時に説明する。
- (1) 男女同時に受付し、同時に開会する。男子試合場と女子試合場の二つの試合場で同時進行とする。
 - (2) 試合者はマウスシールド・面マスクのどちらかの装着を必須とする。一体型シールドは認める。
 - (3) 試合者のアイガードの装着は任意とする。
 - (4) 試合者の試合時以外については、面マスクの着用は任意（試合者個人及び保護者の判断）とする。
 - (5) 昼休憩を予定している。なるべく屋外での喫食をお願いする（天候による）。

- (6) 見学応援については、顧問などの先生、引率者、試合に出ない剣道部員及び剣道部員の保護者、剣道指導者のみ(学校関係者のみ)とする。
- (7) 審判時のマスクは着用せず、大会役員、審判時以外の審判員、係役員、補助係員、係生徒のマスクの着用は任意とする。
- (8) 試合者は鍔競合いを避ける。やむを得ず鍔競合いになったときは、ただちに引き技を出すか、速やかに分かれることを心がけること。
- (9) 開会時に審判長より説明し反則行為の共通理解を図る。本大会においては選手への指導も兼ねて、審判が積極的に注意する。
- (10) 会場校の負担軽減のため、個人で使用する消毒用品などは各校各自で持参すること。

6. 表彰

団体個人ともに 男女別に

優勝(賞状・賞品)、 第二位(賞状・賞品)、 第三位(2チーム2名・賞状・賞品)、

都大会出場権獲得証

※団体優勝は持ち回り優勝旗

7. 大会当日各校で準備するもの

(1) メンバー表

(2) 紅白目印

(3) 名札

田無一中
本
多
華

(名札)

27
cm

西東京市	先	次	中	副	大
明	古	本	石	本	亀
保	賀	多	川	多	澤
中		華		真	

(団体戦メンバー表) 模造紙 4 分の 1 79cm

1

佐
藤

明治学院中

・白 A 4 用紙縦 2 分の 1

・同姓の選手がいる場合は名前の一文字まで

・上部にトーナメントの選手番号を記入

・女子は支部名の下に赤アンダーラインを引く

(個人戦名表) A 4 縦 2 分の 1

8. 注意

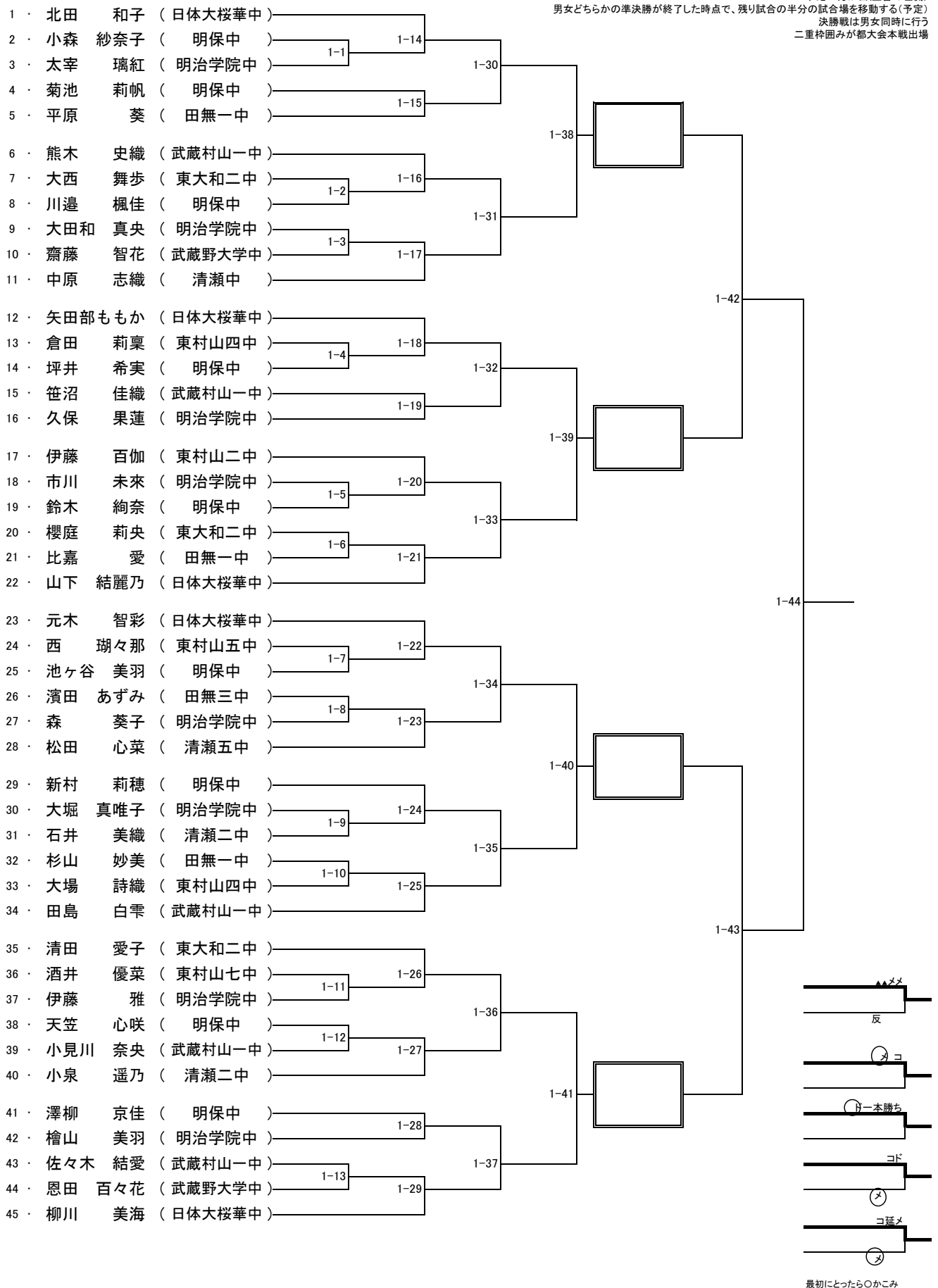
- ・必ず、顧問または了承された大人が引率し、受付を行ってください。
 - ・会場内で、試合待機中においては、態度が乱れぬよう各校で自覚すること。会場校に迷惑がかけられないようにすること。
 - ・ビン、缶、ガムや菓子類の持ち込みは禁止する。違反した場合は失格の場合もある。保護者からの差し入れなども同様とする(自粛すること)。
 - ・外履きは各自で靴袋などに入れ、防具袋やカバンなどに保管すること。屋内でのキャスターの使用は禁止する。雨天の場合の傘についても同様に袋に入れること。整理整頓を心掛けること。
 - ・貴重品は各自(各校)で管理し責任を持つこと。
 - ・審判員は全剣連指定の服装(紺ブレザー・白ワイシャツ・えんじネクタイ・グレーズボン・紺靴下、女性審判員もこれに準じた服装)を着用すること。引率者・コーチもこれに準じた服装とする。天候を考慮し本大会はブレザー無し、白ワイシャツ・えんじネクタイ・グレーズボン・紺靴下とする。
 - ・公共交通機関、特に路線バスを利用する際は節度を持った行動を心掛けること。
 - ・大会当日の体調不良等による欠席の場合は、受付時間に連絡をお願いします。
- ※本大会では、大会役員、審判員、係役員 の先生と、補助係員のみ大会本部で昼食を用意する。

9. その他

- ・同じ剣道競技の大会でも、大会毎ごとに、入場の制限・感染拡大防止の取り組み・昼食の手配が異なります。要項やプログラムなどでご確認ください。
- ・東京都中学校体育連盟剣道部ホームページ「<https://ctr.tokyokendo.jp>」も定期的にご参照ください。
- ・夏季都大会申し込み書類は、7月7日(月)までに各支部(市)の剣道専門委員または11ブロック剣道競技責任者東大和市立第二中学校 亀澤祐浩(2070014 東大和市南街3-60-4 T042-561-2328 F042-590-7029)に届けること。都大会申し込みに必要な書類を事前に見込みで作成し、7/6(日)の大会当日に持参し、都大会出場権を獲得したら閉会式後に提出というかたちがスムーズです。
- ・夏季都大会団体戦は、監督と引率者は必須で、大会当日に大会会場にいたことが求められます。団体戦については代理の監督を依頼することが認められていません。
- ・夏季都大会個人戦は 監督と引率者は必須で、大会当日に大会会場にいたことが求められます。監督が各学校で手配できない場合は、他校の顧問(各支部の専門委員等)に代理監督を依頼して下さい。他校の顧問に面識がない場合などは東大和二中・亀澤祐浩でも構いません。監督氏名欄が無記入だったり、監督を登録しているのに大会会場に不在ということがないようにお願いします。なお、監督を他校に依頼した場合、自校で外部指導者を登録申請して、外部指導者としての監督補佐の届を行うと監督補佐として大会ベンチに入ることができます。
- ・都大会では竹刀の検量(重さ、長さ、ちくとう部の直径、つば、先皮、中結の位置、ささくれ、弦、たるみ等が検査され、合格し検印された竹刀だけが使用を認められます。

※稽古会方式での第11ブロック中学校剣道研修会を、9月6日(土)午後に行います。

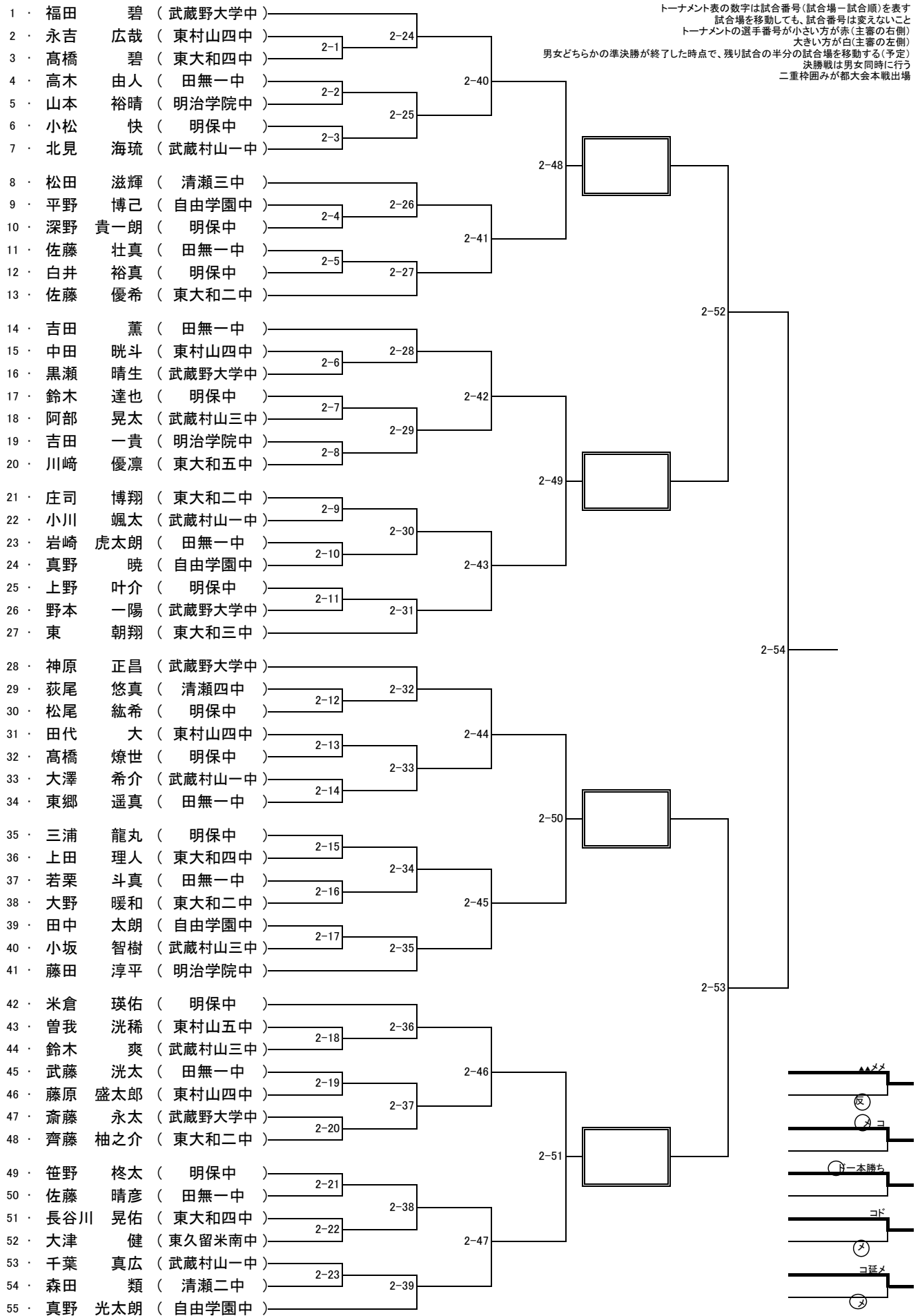
トーナメント表の数字は試合番号(試合場-試合順)を表す
 試合場を移動しても、試合番号は変えないこと
 トーナメントの選手番号が小さい方が赤(主審の右側)
 大きい方が白(主審の左側)
 男女どちらかの準決勝が終了した時点で、残り試合の半分の試合場を移動する(予定)
 決勝戦は男女同時に行う
 二重枠囲みが都大会本戦出場



令和7(2025)年度 東京都第11ブロック中学校剣道選手権大会

男子個人戦

トーナメント表の数字は試合番号(試合場-試合順)を表す
 試合場を移動しても、試合番号は変えないこと
 トーナメントの選手番号が小さい方が赤(主審の右側)
 大きい方が白(主審の左側)
 男女どちらかの準決勝が終了した時点で、残り試合の半分の試合場を移動する(予定)
 決勝戦は男女同時に行う
 二重枠囲みが都大会本戦出場



令和7(2025)年度 東京都第11ブロック中学校総合体育大会剣道大会
女子団体戦

トーナメント表等の数字は試合番号(試合場ー試合順)をあらわす
試合場を移動しても試合番号は変えないこと
チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)
大きい方が白(主審の左側)

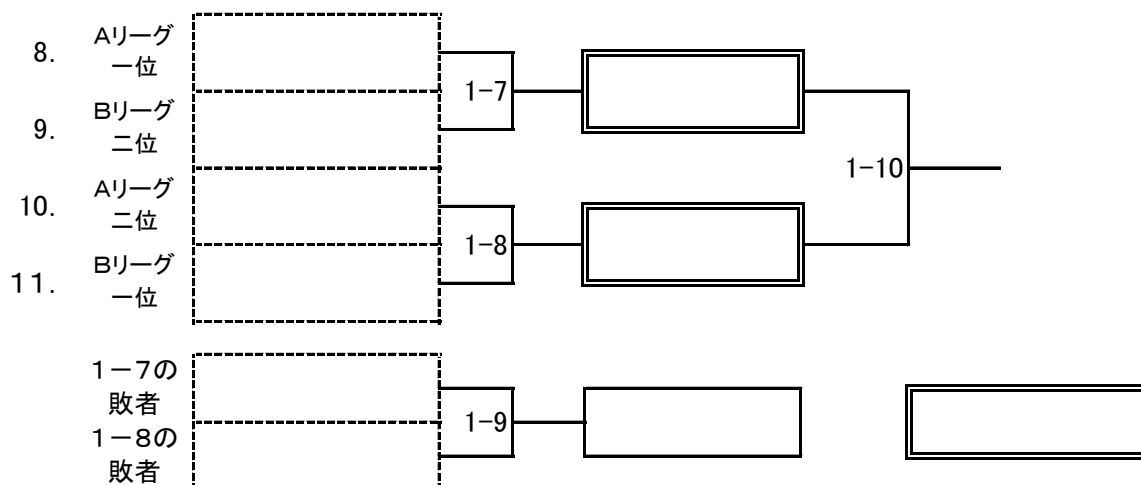
二重線枠が都大会出場校

Aリーグ	予選リーグ	桜華	明保	田無一		勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	日体大桜華中	—	—	—	—					
2.	明保中	—	—	—	—					
3.	田無一中 ③	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

Bリーグ	予選リーグ	え	お	か		勝ち点	勝者数	得本数		順位
4.	武蔵村山一中	—	—	—	—					
5.	明治学院中	—	—	—	—					
6.	東大和二中 ③	—	—	—	—					
		—	—	—	—					

試合番号(試合場ー試合順) リーグ

		赤	白
1-1	A	日体大桜華中	田無一中
1-2	B	武蔵村山一中	東大和二中
1-3	A	明保中	田無一中
1-4	B	明治学院中	東大和二中
1-5	A	日体大桜華中	明保中
1-6	B	武蔵村山一中	明治学院中



トーナメント
3(7) 2(4)代 1(3)代延
勝者数(得本数)

リーグ
勝ち 負け 引分
○ △ □
-7-

7 得本数
3 勝者数

令和7(2025)年度 東京都第11ブロック中学校総合体育大会剣道大会

(20250701改訂)

男子団体戦

トーナメント表等の数字は試合番号(試合場ー試合順)をあらわす

試合場を移動しても試合番号は変えないこと

チーム番号が小さい方が赤(主審の右側)

大きい方が白(主審の左側)

二重線枠が都大会出場校

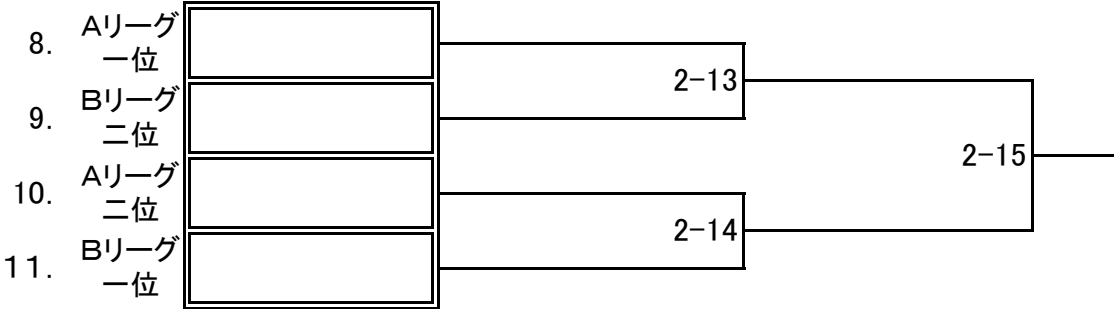
Aリーグ	予選リーグ	武蔵野大	自由学園	武村一	明治学院	勝ち点	勝者数	得本数		順位
1.	武蔵野大学中	—	—	—	—					
2.	自由学園中	—	—	—	—					
3.	武蔵村山一中 ④	—	—	—	—					
4.	明治学院中 ③	—	—	—	—					

Bリーグ	予選リーグ	明保	田無一	東村四	東大二	勝ち点	勝者数	得本数		順位
5.	明保中	—	—	—	—					
6.	田無一中	—	—	—	—					
7.	東村山四中 ④	—	—	—	—					
8.	東大和二中 ④	—	—	—	—					

試合番号(試合場ー試合順) リーグ

2-1 B
2-2 A
2-3 B
2-4 A
2-5 B
2-6 A
2-7 B
2-8 A
2-9 B
2-10 A
2-11 B
2-12 A

赤 白
明保中 — 東大和二中
武蔵野大学中 — 明治学院中
田無一中 — 東村山四中
自由学園中 — 武蔵村山一中
明保中 — 東村山四中
武蔵野大学中 — 武蔵村山一中
田無一中 — 東大和二中
自由学園中 — 明治学院中
東村山四中 — 東大和二中
武蔵村山一中 — 明治学院中
明保中 — 田無一中
武蔵野大学中 — 自由学園中



トーナメント
3(7) 2(4)代 1(3)代延
勝者数(得本数)

リーグ
勝ち 負け 引分

7 得本数
3 勝者数